

第397回:金融部門の代表者一覧表

こどものころ、スウェン・ヘディンが「さまよえる湖」を探しに中国奥地に分け入る探検記や、トール・ヘイエルダールが竹やマングローブで編んだ筏のコンティキ号に乗って太平洋を横断する冒険記を読んで、いたく興奮し、大人になったら考古学者になりたいと思ったことがある。

でも彼らの著作をよく読むと、日常の仕事の大半は手間のかかる古文書解読や、標本の分類作業といったデスク・ワークばかりであり、椎名誠さんの「わしらは怪しい雑魚釣り隊」のようなフィールド・ワークはごく一部であることがよくわかる。

チャイナ・ウォッチの仕事も一緒であり、上海の怪しげなナイトクラブで、インディ・ジョーンズのような冒険を重ねているわけではない。

ご参考までに、きのう約2時間かけてまとめた名簿をご高覧頂きたい(3頁~4頁)。

今秋北京で開催される5年に一度の共産党全国大会(19大)に参加する全国からの代表者2千名超が、最近発表され始めている。最大勢力は上海市、浙江省など地方の代表者だが、それ以外にも、「中央直属機関代表」、「人民解放軍代表」等からも代表者が送り込まれている。

今秋発表されたのが、「金融部門の代表者44名」の名簿だ。しかし新華社は代表者の氏名をぶっきらぼうに筆画順に並べているだけ。これをカテゴリー毎に分類し、職位を探し出したのが3頁以降の名簿である。

慣れれば数時間で整理できるが、中国株の担当者レベルだと1か月かかっても解読は無理だ。もともと、中国で李さん、王さん、張さんの人口合計は約3億人だ。下表の李鵬さんや王濱さんの同姓同名が中国には10万人くらいおり、筆者が別人と間違えて職務を誤記載した可能性もないではない。

さて、この名簿から何らかのインプリケーションが読み取れるはずだと期待して、辛い作業をしたのだが、結論からいえば、空振りだった。あえて所見を加えると以下のとおり。

チャイナ・ウォッチの仕事がいかにつまらないかということを確認するため、ご高覧に供す次第である。

【所見】

- 金融代表で最大勢力は中央銀行に相当する中国人民銀行で5名の選出。行長の周小川(69)は、5年前の18大で中央委員に選出されなかったが、余人をもって代え難いと思われたらしく、異例の3期目に突入した。中国の金融業界は薄曇りの状況が続いており、19大で彼は間違いなく辞めるだろう。彼の後任の最有力候補は銀监会主席の郭樹清(60)氏。
- 中国保険監督管理委員会(保监会)だけが、地方分局(上海と広東)から代表を選出。これは保监会の項俊波主席が、いま不正容疑で当局の取り調べを受けており、この不祥事は更に拡大する可能性がある。だから(クロかも知れない)副主席クラスの選出を避け、地方分局から代表を出したようだ。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/5

- 中国最大のコングロマリットとして、傘下に中信銀行や中信証券を擁する中信集団(CITIC)が、トップではなく、グループ No2の王炯(57)総経理を代表に選出したのは極めて異例。王炯氏は幅広い人脈などを有する若手経営者ではあるが、CITIC の代表者ではない。
同グループを率いる常振明(60)董事長は、いま中国が国策として進めている海陸シルクロード(一帯一路)構想で、CITIC グループを率いて中心的な役割を果たすと期待されていた極めて重要な人物である。証監会の次期主席と報じられたこともある。
もちろん、中国国有企業の最高幹部は公務員のようなものであり、彼が 60 歳で全職務から引退しても不思議ではないが、突然の今回のサプライズ発表が少し気になる。
- 銀行からは3大政策銀行と、5 大商業銀行から代表を選出。中国の商業銀行といえば、中国工商銀行(総資産 24 兆元)、中国建設銀行(同 21)、中国農業銀行(同 20)、中国銀行(同 18)の4行が圧倒的に大きい。日本勢で、この 4 行に比肩できる規模を持つのは、本邦では突出した存在の三菱 UFJ のみ。中国で 4 行に続く銀行は交通銀行(総資産 8.4 兆元)、興業銀行(同 6.1)、招商銀行(同 5.9)、中信銀行(同 5.9)、中国民生銀行(同 5.9)、浦東発展銀行(同 5.9)の6行。たしかに交通銀行が、そのなかで最大手だが、上位4行には遥かに及ばない。
しかしなぜか中国の金融当局は、上海に本店を持つ交通銀行を「五大銀行」に加えている。大手 4 行は 19 大に董事長と行長の 2 名を代表に送り出しているが、交通銀行も 1 名の枠を確保している。
- 保険業界は、生保首位の中国人寿集団と、損保首位の中国人民保険集団、及び中堅の中国太平保険集団から代表選出。保険業界で中国人寿に続く二番手は深圳に本拠を置く中国平安保険だが、同社は民間色が強く、かわりに政府系の太平保険が選ばれたようだ。
- 証券業界からの代表はゼロ。これには色々な理由が考えられる。銀行や保険に比べ証券業界の社会的地位が未だ低いこと、2 年前の A 株乱高下事件に絡む業界の権威失墜等のネガティブな要因が影響した可能性はある。
しかし最大の理由は証券業界で働く党員数が、銀行や保険会社に比べ少ないことだろう。中国工商銀行の職員は 46 万人、中国人民財産保険は 17 万人、これに比し証券業界で大手の海通証券は 5 千人程度だ。
- 中華人民共和国は労農同盟によって運営されているタテマエとなっており、共産党大会に党や政府の高官だけが出席するわけにはいかない。だから一般職員も金融業界代表として多数選出されている。どんな基準がよくわからないが、貧しい地方、一定数の女性参加、多民族国家として少数民族にも配慮された顔触れのようなのだ。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/5

中国共産党第19回全国大会 金融部門代表 44名 ソース:新華社

新華社は筆画順に氏名(女性、少数民族を注記)を発表したのみであり、カテゴリー分類と職位は、現地報道を参考に筆者による分類。一般職員の属性は財新報道による。下線を付した氏名は女性

監督官庁の幹部 11名

- ①周小川(中国人民銀行 行長)
- ②易綱(同 副行長)
- ③陳雨露(同 副行長)
- ④潘功勝(同 副行長 国家外貨管理局長)
- ⑤賀鉄林(同 決済センター 上海中心技術保障部総経理)
- ⑥郭樹清(中国銀行業監督管理委員会 主席)
- ⑦杜金富(同 紀検組長)
- ⑧劉士余(中国証券監督管理委員会 主席)
- ⑨李正強(大連商品交易所理事長)
- ⑩裴光(中国保険監督管理委員会 上海保監局長)
- ⑪朱偉忠(同 広東保監局スポークスマン)

銀行の幹部 12名

- ①胡懷邦(国家開発銀行 董事長)
- ②胡曉煉(中国輸出入銀行 董事長)
- ③解学智(中国農業発展銀行 董事長)
- ④王洪章(中国建設銀行 董事長)
- ⑤王祖繼(同 行長)
- ⑥易会満(中国工商銀行 董事長)
- ⑦谷澍(同 行長)
- ⑧田国立(中国銀行董事長)
- ⑨陳四清(同 行長)
- ⑩周慕冰(中国農業銀行 董事長)
- ⑪趙歆(同 行長)
- ⑫牛錫明(交通銀行 董事長)

保険会社の幹部 3名

- ①楊明生(中国人寿集団 董事長)

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/5



- ②呉焯(中国人民保険集団 董事長)
- ③王濱(中国太平保険集団 董事長)

国有金融グループの幹部 1名

- ①王炯(中信集団 総経理)

金融機関の一般職員 17名

- ①代鵬(中国投資有限公司 董事会弁公室)
- ②毛劍明(中国出口信用保険公司 理賠部 総経理助理)
- ③馬欣(国家開發銀行 業務発展局 局長)
- ④歩同良(中国農業銀行 山東省茌平県支行 窓口員)
- ⑤田霞(同 甘肅省分行 迭部県支行 客戸部 経理)
- ⑥達瓦=チベット族(同 石渠県支行 工会主席兼営業部 運営主管)
- ⑦劉文鳳(中国農業発展銀行 四川広漢市支行 行長)
- ⑧張欣園(中国銀行 上海分行 貿易金融部 総経理)
- ⑨劉娟(招商銀行 青島分行 営業部)
- ⑩吳狄(中国印鈔造幣総公司 昆山鈔票紙業有限公司 高級技師)
- ⑪張麗麗=満州族(中国建設銀行 天津分行)
- ⑫呷西哈姆=チベット族(同 阿壩分行 營銷主管)
- ⑬羅方科(中国光大銀行 長沙分行 行長)
- ⑭李鵬(中国工商银行 新疆分行 営業部)
- ⑮朱捷(同 上海分行 普陀支行 職員)
- ⑯金穎穎(同 温州分行 営業部 副総経理)
- ⑰伍斌

以上、チャイナ・ウォッチの退屈な作業現場からの中継でした。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年7月21日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

4/5



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

5/5



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040